

◎ 彙報

第三三回 原爆文学研究会

○日時 二〇一〇年二月二十五日(土) 一二時半より

○会場 九州大学西新プラザ中会議室

○研究発表

「被爆体験」の輿論史とローカル・メディア

福岡 良明

文体と出来事の記憶——林京子「祭りの場」について

村上 陽子

○合評会

ジョン・W・トリート『グラウンド・ゼロを書く——日本文学と原爆』

報告 野坂 昭雄

第三五回 原爆文学研究会

【一日目】

○日時 二〇一一年七月三〇日(土) 一四時より

○会場 活水女子大学4号館二階会議室

○研究発表

原爆被爆者三世代——証言とそこから見えてきたも

澤田 愛子

「記憶」をつなぐ語り——長崎・被爆体験の継承活動が示すもの——

富永 佐登美

【二日目】

○日時 二〇一一年七月三一日(日) 九時より

軍艦島ツアー

第三四回 原爆文学研究会

【一日目】

○日時 二〇一一年五月七日(土) 一四時より

○会場 立教大学池袋キャンパス9号館B01教室

○研究発表

試論…小説・映画・絵画における被爆者の「性的」描写について

高野 吾朗

大江健三郎と原民喜——「夏の花」の評価をめぐる——

高橋 由貴

第三六回 原爆文学研究会

○日時 二〇一一年九月二十四日(土) 一四時より

○会場 京都大学文学部総合研究二号館第九演習室

○ワークショップ 「被爆の記憶と原子力の夢」

——原爆文学から問いなおす——

報告1 1950年代の広島における被爆体験と原子力への期待感

——サークル誌『われらの詩』『われらのうた』を中心に——

山本 昭宏

報告2 原水禁署名運動とジェンダー

中谷 いずみ

報告3 デリダ・ゲーム理論・正力松太郎

野坂 昭雄

(コメント 川口隆行/福岡良明)

○日時 二〇一一年五月八日(日)

午前 原爆の岡丸木美術館見学 午後 軍需工場跡吉見百穴見学

【二日目】